

# 週間漁海況情報—第7号

平成27年2月16日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

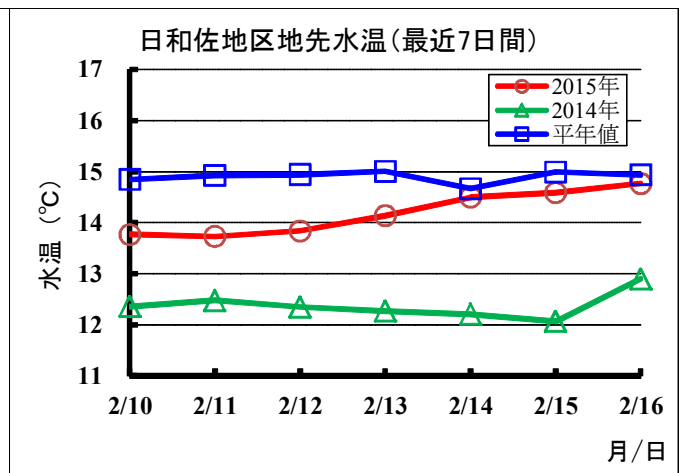
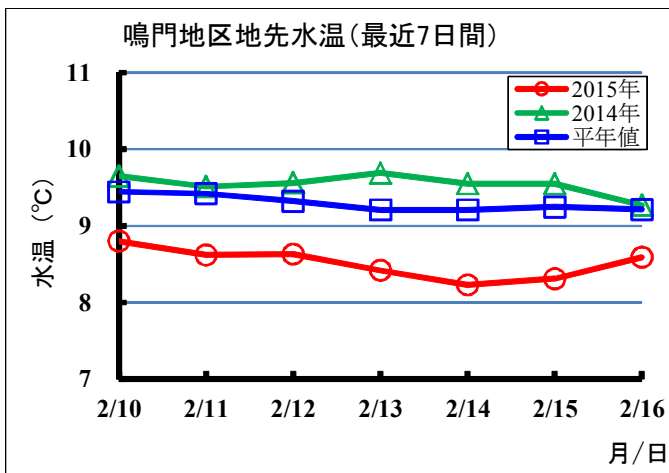
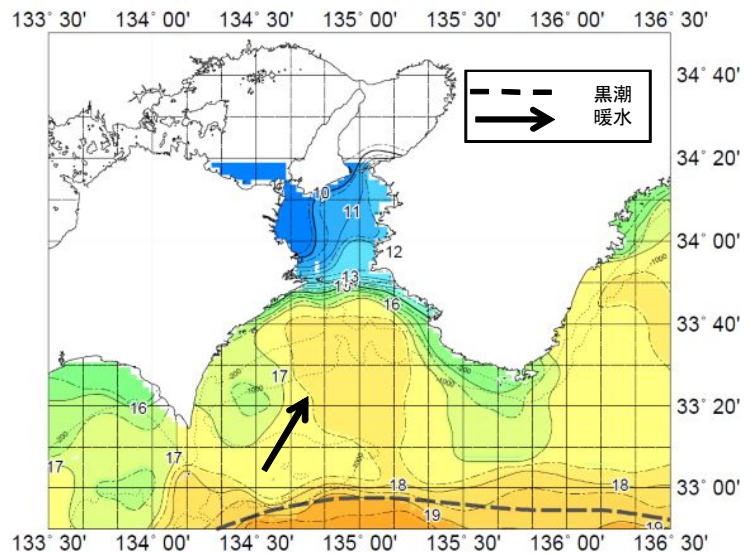
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.2.16）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で、やや離岸している。

黒潮本流の表面水温は18～19℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8～9℃台、紀伊水道では9～12℃台、海部沿岸は12～16℃台である。紀伊水道外域では室戸岬の東側から暖水の流入がある。



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」の8.2～8.8℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の13.7～14.8℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の15.7～16.1℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で大主体にサバフグが0.8トン（1日1隻あたり24kg）、大主体にキダイが0.6トン（同12kg）水揚げされた。

**建網**：海部沿岸でヒラメが0.2トン（同6kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で小主体にマアジが0.3トン（同8kg）、カタクチイワシが0.4トン（同16kg）、かます類が0.4トン（同13kg）、キビナゴが0.2トン（同11kg）、アオリイカが0.3トン（同5kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸でマメ主体にマアジが0.5トン（同59kg）、ハマチが0.9トン（同117kg）、大・中主体にサワラが0.2トン（同28kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸でマアジが0.2トン（同11kg）、特大・大主体にマサバが0.5トン（同32kg）、大主体にゴマサバが0.8トン（同48kg）、メジロが0.2トン（同9kg）、大・中主体にサワラが0.2トン（同76kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年2月9日～2015年2月15日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	34	808	24	大主体
		キダイ	46	558	12	大主体
建網		ヒラメ	40	243	6	
小型定置網		マアジ	36	272	8	小主体
		カタクチイワシ	26	410	16	
		かます類	30	380	13	
		キビナゴ	19	208	11	
		アオリイカ	52	279	5	
大型定置網		マアジ	8	471	59	マメ主体
		ハマチ	8	936	117	
		サワラ	8	226	28	大・中主体
釣り		マアジ	19	200	11	
		マサバ	17	548	32	特大・大主体
		ゴマサバ	17	824	48	大主体
	メジロ	25	231	9		
		サワラ	3	227	76	大・中主体

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年の2月10日～2月16日には、海部沿岸で、延縄でカワハギが0.1トン水揚げされた。小型定置網でカタクチイワシが0.9トン、中主体にスズキ類が0.1トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先で「平年並み」の14℃台で推移する見込み。